

夏山セミナー修了山行 槍沢から槍ヶ岳へ

【日時】 2015年7月23日（木・夜）～26日（日）

【メンバー】 15人

【天候】 雨のち晴れ

【利用交通機関】 往路：阪急梅田バスターミナル～松本駅前（夜行バス）＝松本～新島々（電車）＝上高地（タクシー）

帰路：上高地～新島々（バス）＝新島々～松本（電車）＝松本～大阪（特急あずさ）＝大阪（解散）

*****コースタイム*****

《1日目》 山行：6時間 距離：14.5km

⑤上高地ビジターセンター9:00＝明神館 10:06＝徳本口(徳本峠分岐)10:51＝徳澤園
11:05＝新村橋(パノラマ分岐)11:58＝横尾 (横尾山荘)12:18＝槍見河原 13:22＝
一ノ俣 13:36＝二ノ俣 14:10＝槍沢口ツチ 14:25＝赤沢岩小屋 (ババ平) 15:00

(先発隊は14:00) ⑥泊

《2日目》 山行：11時間56分 距離：16km

⑤ババ平 04:45＝槍沢大曲り 05:58＝槍沢・天狗原分岐 06:04＝坊主岩小屋 07:19＝
殺生ヒュッテ 07:46＝槍ヶ岳山荘 8:50＝槍ヶ岳山頂 9:30～9:50＝
槍ヶ岳山荘 10:30＝槍沢・天狗原分岐 12:46＝ババ平 13:30～14:45 (テント撤収)
＝槍沢口ツチ 15:34＝二ノ俣 15:39＝一ノ俣 15:47＝横尾 (横尾山荘) 16:41 ⑥泊

《3日目》 山行：4時間 距離：4.5km

⑤横尾 (横尾山荘) 6:00＝明神橋 7:50＝嘉門次小屋を経て上高地自然探究路経由＝
上高地ビジターセンターへ 10:00 ⑥

*****活動記録*****

バス・電車・タクシーを乗り継いで到着した上高地は予報通り雨。台風
の動きも気になるし、絶景を望むのは無理かなと半ばあきらめて、とに
かく無事に行程をこなして下山できたならよしとしよう心に誓っての出
発だった。だがしかし、予想に反してだんだん天気は良くなって、槍の
穂先に着いたときは雲一つない快晴。予想もしなかった絶景が迎えてく
れた。メンバーの体調も問題なく、皆で槍の穂先に立ち、思う存分絶景
を楽しんだ。帰りも順調に進み、大満足で上高地に到着。ちょっとした
手違いで、温泉には入れなかったけど、ビジターセンターでシャワーを
浴びてさっぱりして、お土産を手に無事に松本帰着。松本からは、運よ
く大阪直通の特急に乗ることもできて、楽々で関西まで戻ってこられた。
本当に、いろんな運に恵まれたいい山行だった。

【写真】



1.夜行バス・電車・タクシーを乗り継いで、8:50 やっと上高地に到着。



2.小雨の降る中、ババ平らのテント場をめざす。荷物が重い



3. いつもは人でごった返している河童橋付近も、雨のせいで人が少ない



4. 観光客を横目に、足早に明神へ



5. 明神岳もガスがかかっている。



6. コースタイムより 15 分以上早く、明神到着。休憩もそこそこに出発。



7. 徳本口通過。



8. 雲の動きが速い。だんだん雨が小降りになってくる



9.徳澤ロッジ前。今年は工事中で使用できない



10. 徳澤園前で休憩。ここまでビールが 300 円。ここから値段が跳ね上がるので、みな、好みの嗜好品を購入。また、荷物が重くなった。(～_～;)



11. 徳澤分岐通過。



12. SL が、ここからもパノラマコースに行けると説明してくれた。



13. 新村橋通過。



14. 長堀沢通過。このあたりから、沢沿いを進む。雨はすっかり上がって、蒸し暑くなってくる。



15. 長堀山への分岐。



16. すっかり雨も上がって、表銀座の山々が見えてくる。



17. ホタルブクロ。六甲で見ると、3倍くらい大きい。



18. 立石通過。川沿いの木の橋を何度か渡る。



19. 横尾到着。ここで、先発隊が4人先行して、テント場をめざす。



20. 横尾大橋からの眺め。だんだん雲が晴れてきたが、まだ穂高連峰は見えない。



21. 横尾山荘前でしばらく休憩してから出発。ここまで、コースタイムの三分の二くらいの時間で進んできた。



22. 横尾分岐。9月の山行では、ここへ下ってくる予定。



23. ワサビ沢の入り口。このあたりから傾斜がだんだん急になって来る。



24. 水場。涼しい〜



25. 槍見河原。槍らしきものは、全く見えず。止まらず通過。



26. 一ノ俣の橋を渡る。



27. 一ノ俣沢分岐。しばし休憩。暑い…



28. 崖崩れ場所を通過。



29. 二の俣沢分岐を通過。



30. このあたりから、川沿いは「槍沢」と名前が変わる。



31. 槍沢ロッジ到着。テント場の使用予約を済ませる。



32. カブト岩通過。



33. クルマユリが咲いていた。



34. やっとババ平の仮テント場に到着。先発隊は、1時間以上前に到着して、場所取りや準備をしてくれていた。



35. 今夜の夕食。野菜たっぷりのカレー。



36. いただきま〜す。
長い一日が終わった。明日は槍ヶ岳登頂。がんばるぞ〜！



37. 3:00 起床で、テント内で朝食。
昨日の残りのカレーをそうめんだけで。



38. 薄暗い中、荷物をデポしてテント場を出発。



39. だんだんと明るくなってきたところに、雪渓出現。



40. 向こうに、槍沢モレーンも出現。



41. 大きくクレバスのあいた危険な雪渓。



42. この後、何度も雪渓を渡る。



43. 雪渓を渡るとお花畑が出現。



44. ニッコウキスゲも咲いている。



45. ガレた急斜面のつづら折れを登っていくろ、天狗原分岐。今回は、まっすぐ殺生ヒュッテをめざす。



46. 槍沢モレーン帯を通過。氷河の跡。



47. 高山植物もあちこちらに出現。



48. 何度めかの雪渓渡歩



49. ついに、槍の穂先が見えた。



50. 穂先をめざして雪渓を渡る。



51. 殺生ヒュッテに寄り道して休憩。槍の肩まであともう少し。



52. 坊主岩小屋の前。振り向くと、富士山が見えていた。



53. 殺生分岐へ。



54. 槍ヶ岳山荘まであと 110m。ジグザグの登りがきつい。



55. 槍ヶ岳山荘が目に見えた。



56. 槍の穂先に向かう人が見える。風が強くなってきた。



57. やっと、槍ヶ岳山荘に到着。リーダーが、全員の体調をチェックして、穂先に向かうかどうか判断する。



58. 山荘に、荷揚げのヘリが到着。すごい音と風。



59. 山荘前から、穂高連峰を望む。



60. リーダーとH江氏は残って、他のメンバーは山荘を後にして穂先に向かう。



61. 高度のある岩稜を登っていく。
今日は、人が少なく登りやすい。



62. 梯子、鎖を何度かやり過ぎて、
槍ヶ岳山頂に到着。360度の大パノ
ラマが我々を迎えてくれた。



63. 社の後ろ側に、北鎌尾根と北鎌
独標が見える。いつか、登ってみたいけど、本当に登れるのだろうか…



64. 三角点タッチ。



65. 穂高連峰と、どこまでも続く絶
景。遠く、白山まで見える。



66. 西鎌尾根と裏銀座の峰々。



67. 笠ヶ岳もすぐ目の前に。



68. 名残惜しいほどの絶景を後にし
て下山。



69. ババ平めざして下山する頃
には、穂先はすっかりガスの中。本当
に、待ってくれていたように、運が
良かった。



70. めずらしいザゼンソウが…



71. ババ平に到着。テントを撤収し
て横尾をめざす。荷物がとたんに重
くなって、メンバーも疲労気味。



72. やつとのごとく横尾到着。お疲
れ様でした。



73. 4:00 起床で 6:00 出発。いよいよ北アルプスともしばしの別れ。



74. 一昨日とはうってかわって、朝
から快晴。



75. 梓川沿いの景色も美しい。名残
惜しい…



76.穂高の先っちょが見え隠れ。



77. 明神到着。ここから、自然散策路を通ることに。



78. 明神橋を渡る。



79. 穂高神社にお礼参り。最後まで、旅の無事をお祈りする。



80. 自然探究路へ。



81. 木道と湿原が美しい。



82. 子どもの頃から、全く変わらない静かな美しい景色に酔いしれる。



83. 焼岳が見えてきた。



84. 吊り尾根。



85. 岳沢湿原から見える、霞沢岳。



86. 潤沢と、ザイテングラートと穂高。いつも、心の片隅にある光景。又来るから、待っててね！